

地域再生計画評価調書(まち・ひと・しごと創生寄附活用事業効果検証調書)

地域再生計画の名称	今治市まち・ひと・しごと創生推進計画	地域再生事業の名称	今治市まち・ひと・しごと創生推進事業	令和5年度評価
-----------	--------------------	-----------	--------------------	---------

重要業績評価指標(KPI)の達成状況

評価指標		基準年数値	目標数値、実績値及び目標数値に対する達成度							達成度についての分析	
				2020年 (令和2年)	2021年 (令和3年)	2022年 (令和4年)	2023年 (令和5年)	2024年 (令和6年)	最終年目標数値 2024年		
目標1	転出超過数(新たな雇用を創出し抑制)	807 人	目標 (累計)	677 人	569 人	478 人	401 人	336 人	336 人	目標1の転出超過数は、令和5年の実績値が651名で、目標値を250人下回った。実績値は令和4年と比較しても大きな変化はないが、目標数値が毎年減少する設定のため、達成度(転出超過数)は令和4年を下回っている。	
			実績 (累計)	677 人	1,246 人	1,724 人	2,125 人	2,461 人	2,461 人		
				593 人	693 人	618 人	651 人	人	人		
				593 人	1,286 人	1,904 人	2555 人				
	達成度		転出超過数が想定より84人抑制された。	転出超過数が想定を124人上回った。	転出超過数が想定を140人上回った。	転出超過数が想定を250人上回った。					
目標2	子育ての環境や支援の満足度の割合	17.3 %	目標	%	%	%	17.3 %以上	%	%	目標2の子育ての環境や支援の満足度の割合について、今治市子ども・子育て支援事業におけるニーズ調査を実施し、目標値を7.6ポイント上回った。平成30年実施の前回調査以降、少子化対策として様々な子育て支援施策を実施したこと、今治版ネウボラの伴走型子育て支援が要因と思われる。	
			実績	(次回アンケートR5年度実施予定)				24.9 %			
			達成度				143.9%				
目標3	観光入込客数	275.6 万人	目標	289.2 万人	292.0 万人	295.1 万人	298.7 万人	302.8 万人	302.8 万人	目標3の観光入込客数については、目標に対する達成度は、-39.3%となった。新型コロナウイルス感染症が第5類に引き下げられたことで、コロナ禍前と同程度に観光客が戻りつつある。中でも海外を含め県外客の増加が目覚ましく前年度対比136.3%であった。	
			実績	138.6 万人	121.2 万人	207.3 万人	264.9 万人	万人	万人		
			達成度	-503.7%	-567.6%	-251.1%	-39.3%				
目標4	住み続けたいと感じる市民の割合	79.0 %	目標	%	%	%	%	%以上	%		
			実績	(次回アンケートR6年度実施予定)							
			達成度								

まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附の実績

寄附受入れ額計		173,430千円			
	法人名	本社所在地	寄附額	寄附対象事業	
(別紙のとおり)					

寄附活用事業の実績及び今後の方針等

寄附金を充当した主な事業	事業費	寄附受入額	主な取組
「FC今治サッカー専用スタジアム建設」プロジェクト	1,000,000千円	169,430千円	【「FC今治サッカー専用スタジアム建設」プロジェクト】 今治市ホームページ等に掲載し、プロジェクトを広く周知した。また、企業版ふるさと納税としていただいた寄附金を、スポーツ振興基金に積み立てた。
未来を創る、生きる力を育む教育（充実した教育環境の整備）事業	8,643千円	1,000千円	【未来を創る、生きる力を育む教育（充実した教育環境の整備）事業】 市内小中学校の図書室の書籍を購入し、教育環境の充実を図った。
災害に強いまちづくり	-	物品寄付	【災害に強いまちづくり】 それぞれ水循環型となるシャワーキット「WOTA BOX」及び手洗いスタンドキット「WOSH」の寄付を受けた。
人口減少対策（子育て支援環境の充実）	32,735千円	（非公表）	【人口減少対策（子育て支援環境の充実）】 今治版ネウボラの遊び場サテライト事業として、市内の公園に乳幼児が安心して遊べる遊び場（すくすくガーデン）を整備する費用の一部に充当した。
事業効果及び今後の取組			
【「FC今治サッカー専用スタジアム建設」プロジェクト】 （寄附を充てて実施した事業（主な取組）の効果及び今後の取組について記載してください） ①FC今治サッカー専用スタジアム建設事業費補助金 234,000千円②スポーツ備品等購入支援事業費補助金1,007千円③備品購入費（社会体育費）666千円④子ども体力向上対策事業費3,000千円 ①ふるさと納税制度を活用した、今治市「FC今治サッカー専用スタジアム建設」プロジェクトに基づき、スタジアム建設事業に要した経費の一部を助成することにより、スポーツ拠点の整備充実が図られた。 ②スポーツ協会に交付したことで、ルール改正に伴った資材の購入ができ、スポーツの振興が図られた。 ③ポッチャやモルックなどの軽スポーツの普及に繋がった。 ④一流の講師による的確な指導により、運動への興味関心を高め、自己効力感を向上させられた。 今後も市民にとってスポーツが身近なものとなるよう、また、健康増進に繋がっていくように、誰もがいつでもスポーツに親しめるよう、指導者の育成に充てたり、備品を購入したりするなどして寄附金を活用していきたい。			
【未来を創る、生きる力を育む教育（充実した教育環境の整備）事業】 市内小中学校の図書室の書籍を購入し、教育環境の充実を図ることができた。 今後も、寄付者の意向に沿った教育環境の充実を図るための事業を検討していく。			
【災害に強いまちづくり】 避難所をはじめとする災害現場での衛生環境の向上が推進された。また、平時はイベント等で活用することにより防災啓発につなげていく。			
【人口減少対策（子育て支援環境の充実）】 市内公園への乳幼児が安心して遊べる遊び場（すくすくガーデン）の整備により、子育て・今治版ネウボラ関係事業を推進できた。今後も各エリアへの「すくすくガーデン」の整備に取り組みたい。			
【全体】 企業版ふるさと納税を活用した事業について周知するとともに、市外企業からの寄附につなげることができた。 今後も、寄附を検討する市外企業にわかりやすい寄附対象事業の周知方法を検討するとともに、広く周知していく。			

評価及びそれを受けての市の方針

外部有識者による評価	議会からの意見	今後の方針、改善点など
☒ 総合戦略のKPI達成に有効であった ☐ 総合戦略のKPI達成に有効とは言えない 今後の方針のとおり事業を進めることで了承した。	特定の指摘なく了承された。	今後も、寄附を検討する市外企業にわかりやすい寄附対象事業の周知方法を検討し、広く事業を周知していく。また、寄附企業との官民連携による地方創生事業のより一層の推進を図る。 スポーツの振興のための寄附金なので、より一層の軽スポーツの普及に取り組んでいきたい。また、体力測定で子どもの体力が下がっていることが明らかとなっている現在、プロの指導者の適格な指導を取り入れることにより、子ども自身も走る楽しさ、教育者も正しい指導方法を学べる場となった等の声も寄せられるため、引き続き、子どもの体力向上対策事業もレベルアップしながら取り組んでいきたい。 「ネウボラのサテライト機能」の一つとして、順次、子どものための公園整備を進める。この整備により、乳幼児専用の安全な利用空間が確保され、ネウボラ拠点施設の遊び場サテライトとして、全世代が子育てに寄り添った環境の充実を図る。